

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度 平成20年度～		根拠法令・例規等	備前市子ども情報センター設置要綱	
総合計画	大項目 基本目標	03	地域文化とひとが輝くまちづくり	問合せ先	担当課(室)	生涯学習課生涯学習係
	中項目 基本施策	02	生きがいのあるまちづくり		職・氏名	係長 杉田和也
	小項目 施策	01	家庭教育		電話	64-1841
事務事業名		01	家庭教育支援事業	このシート作成に要した時間		1.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内で子育てをしている保護者	
目的(何のために)	子育てに関する課題を解決するために、家庭教育に関する学習支援、交流会の提供等を行う	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	子育て支援についての情報提供や啓発により、行政と地域が協働で子どもを育む基盤づくりをする	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	家庭教育推進事業		家庭教育的に啓発する保護者向けの講演会の開催及び子どもたちが基本的な生活習慣を身につけることができるよう、市内幼稚園・小学校・中学校でチャレンジカードによる取り組みを進める。
	子ども情報センター運営事業	子ども地域における体験活動・奉仕活動の機会や家庭教育の支援等に関する情報を子どもたちが容易に入手できるように情報紙を発行し、体験活動・奉仕活動への参加等の支援を行うことを目的とした事業。		

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円	617	626	615
	必要人員	人	0.42人	0.55人	0.35人
財源	事業費	千円	4,379	5,540	3,807
	国・県支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	その他( )				
	一般財源		4,379	5,540	3,807
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	情報紙とときめきなび発行経費	説明	情報紙とときめきなびに係る発行経費		
	結果指標量	部	20,000	20,000	20,000
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,929,490	3,705,364	3,541,584
	単位当たりコスト		146	185	177

事業の成果					
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
ときめきなびを家族と一緒に見て活用している世帯の割合	目標値(A)	50	50	50	50
	実績値(B)	35	48	39	到達目標値
	達成率(B/A)	70.00%	96.00%	78.00%	70
成果指標設定の考え方・式や説明					
児童生徒を通じて各家庭に配布している情報紙を、家族と一緒に見て活用していただくため、魅力ある情報紙の紙面づくりに努める					

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  <b>B</b>
	効率性の評価	コスト	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  <b>C</b>
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  <b>C</b>
	市民参画度		

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	情報紙について、特に家庭教育の情報を編集委員をはじめ関係者から幅広く収集し、魅力ある紙面づくりに努めていく。						

総合評価		総合評価
平成24年度は家庭教育について啓発する保護者向けの講演会の開催及び子どもたちが基本的な生活習慣を身につけることができるよう、チャレンジカードによる取り組みを進めた。すぐに効果が表れるものではないが、継続して取り組むべき課題であると思われる。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  <b>C</b>

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	引き続き家庭教育の学習機会と子育て支援情報の提供、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みを進めていく。						

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意し目標